

『第3回まつだ子どもカフェ』
実施概要報告

令和4年12月

1. 第3回まつだ子どもカフェの概要

(1)目的

松田町に在住または在学している子どもたちから、子ども目線のまちづくりについて意見を伺い、今後のまちづくりに反映させることを目的とする。

- ・子どもたちの主体的な意見を尊重し、将来の松田町に夢が持てる内容とする。
- ・ワークショップを通じて、子どもたちの交流の場とする。

(2)開催方法

【第1部】(小学生・中学生向け)

松田町生涯学習センターに来て参加する対面方式で開催。

【第2部】(高校生・大学生等向け)

松田町生涯学習センターに来て参加する対面方式とPCで参加するオンライン(Zoom)方式を組み合わせたハイブリッド方式で開催。

(3)開催日時

令和4年12月11日(日) 第1部 13:00~14:30(小学生・中学生向け)

第2部 15:30~17:00(高校生・大学生等向け)

(4)参加者数

第1部(小学生・中学生向け):11名

松田小学校 2年生 1名、5年生 2名、6年生 8名

第2部(高校生・大学生等向け):21名

立花学園高等学校 1年生 10名、2年生 11名

(対面での参加が18名、オンラインでの参加が3名)

2. 第1部(小学生・中学生向け)

(1)発表内容

※発表者の発言内容のニュアンスが損なわれないよう口語のまま掲載しています。

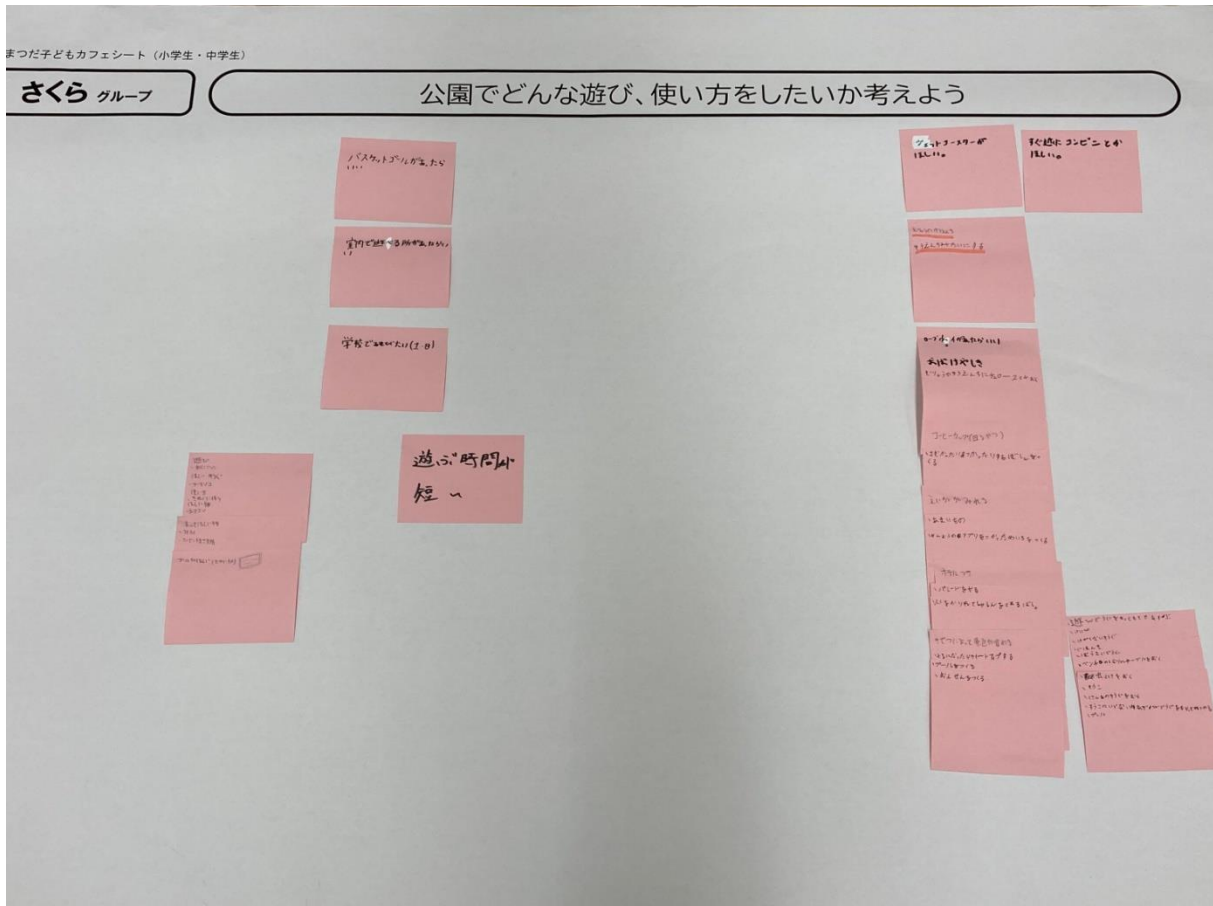
【さくらグループ】 公園でどんな遊び、使い方をしたいか考えよう

・私たちの班は、「公園でどんな遊びをしよう、使い方をしたいか」を考えて、遊園地を作りたいということになりました。その遊園地に、ジェットコースターと、お化け屋敷と、アプリの迷路があるといいと思いました。

《感想》

- ・なかなか公園のアイデアが思いつかなかったのですが、みんなとこんなふうに話し合いができたので良かったです。
- ・楽しかったと思います。
- ・自分の意見が言えて良かったです。
- ・楽しかったです。

■ 第1部 さくらグループのワークシート



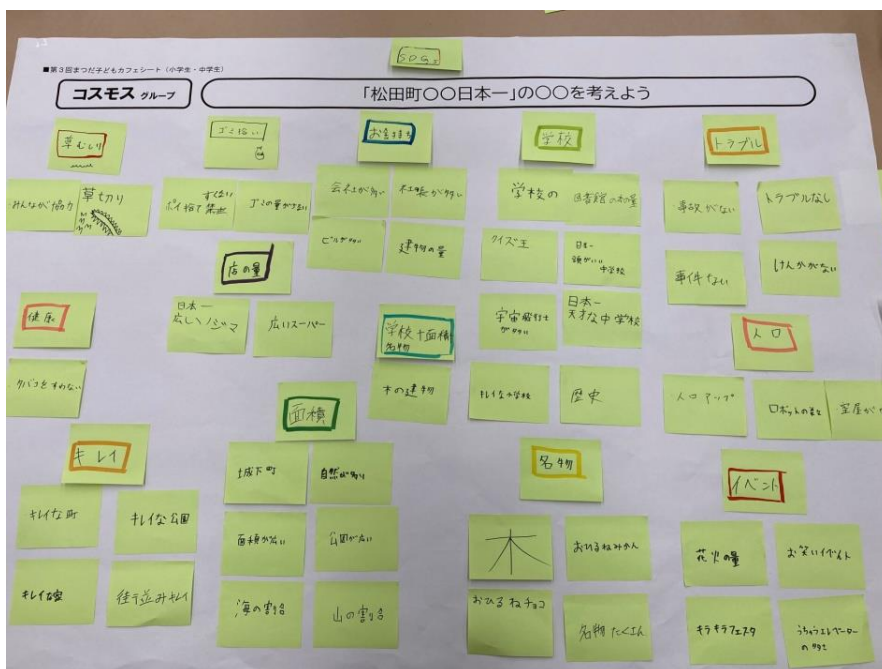
【コスモスグループ】「松田町〇〇日本一」の〇〇を考えよう

- ・私たちは、松田町の「〇〇日本一」を考えました。それで出たのが「草むしり」とかで、草むしりやゴミ拾いをして、「きれいな町」につなげました。「ゴミ拾い」をされていてタバコの吸い殻が多いから、タバコを吸わないで「健康」になろうにつながりました。
- ・まちが「お金持ち」になると、会社が増えたり社長が増えたり、建物の量が増えたりして、「お店の量」も増えます。
- ・「面積」のところは、自然とか公園とかの面積を増やそうということで、面積が増えれば「学校」とかも増えたりできるからというのと、「名物」は、木とか、おひるねみかんとかの名物をたくさん作っていきたいと思って、この面積と学校と名物をつなげた「学校+面積+名物」というのが木の建物で、今も小学校は木の学校だから、木の建物をもっと増やして、名物も木にしたりしようっていうことです。
- ・「トラブル」は、事故とか事件は少なくなったりしてほしいと思って書きました。
- ・「人口」が増えれば、会社とかも人が増えるので、もっとお金が稼げるのかなと思いました。
- ・最後に「イベント」は、きらきらフェスタとか、もっといろいろライブの数を増やしたりしようというのがありました。
- ・この全部をつなげたのが一番上の「SDGs」で、「SDGsで日本一になろう」みたいなことを考えました。

《感想》

- ・今の日本一じゃなく、これからどういう日本一になるかというのを考えました。楽しかったです。
- ・みんなで意見を交換できたので良かったと思います。
- ・考えるのは難しかったけど、楽しかったです。
- ・今の松田町をこれから日本一にできるようにするためにいろいろ考えられたから良かったです。

■ 第1部 コスモスグループのワークシート



【ロウバイグループ】 ひやリマップ(歩いていて危ないところ)を作ろう

- ・このグループは、歩いていて危ないところを考えました。最初は、道が狭いとか、いろいろな意見が出ました。道が狭かったりするから、広くしてほしいです。
- ・松小の近くに、人のうんちとか犬のうんちがあるっていうのがちょっと盛り上がったんですけど、なくなるようによろしくお願いします。

《感想》

- ・楽しかったです。
- ・思ったより松田町にはいろいろな怖い場所があると思いました。
- ・楽しかったです。

■ 第1部 ロウバイグループのワークシート



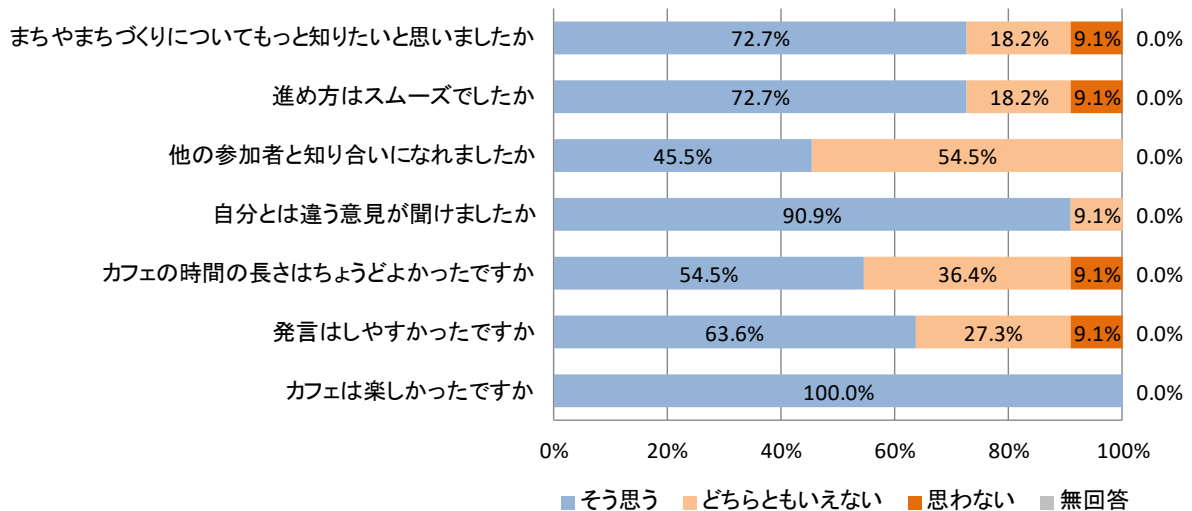
■子どもカフェ(第1部)の様子



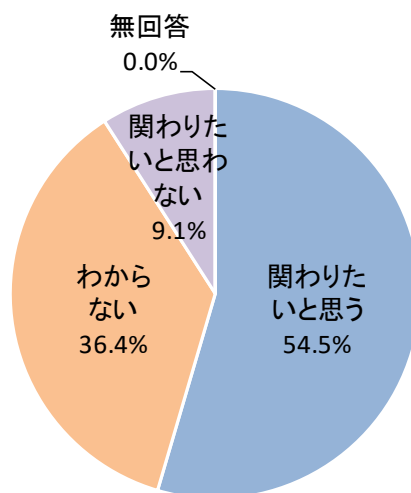
(2)参加者アンケート結果

参加者の感想としては、カフェを楽しみながら、人の話を聞き、まちへの関心・興味が深まったことがうかがえる。町の美化(ゴミ拾いなど)やSDGsに取り組んでほしいとの意見もみられた。

■参加して感じたこと



■次回の参加意向（今後、まちづくりに関わりたいと思うか）



■ 今後、まちが力を入れて取り組んだ方がよいテーマや取り組み

- ・もっと公園を増やした方がいいと思う。
- ・ロウバイチームがやっていた道のことについてをやった方がいい。
- ・SDGsやゴミについて、松田には、たくさんゴミが落ちている。
- ・ゴミ拾い
- ・都会にしてほしい。
- ・いろいろ
- ・わからない
- ・ない

■ 感想やもっと話したかったこと

- ・松田町が何かの日本一になればいいと思う。
- ・カフェの時間はもっと長くしてほしいです。
- ・考えるのはむずかしかったけれど、楽しかったです。
- ・楽しかった。
- ・楽しかったと思いたいです。
- ・もっとやりたい。
- ・ない

3. 第2部(高校生・大学生等向け)

(1)発表内容

※発表者の発言内容のニュアンスが損なわれないよう口語のまま掲載しています。

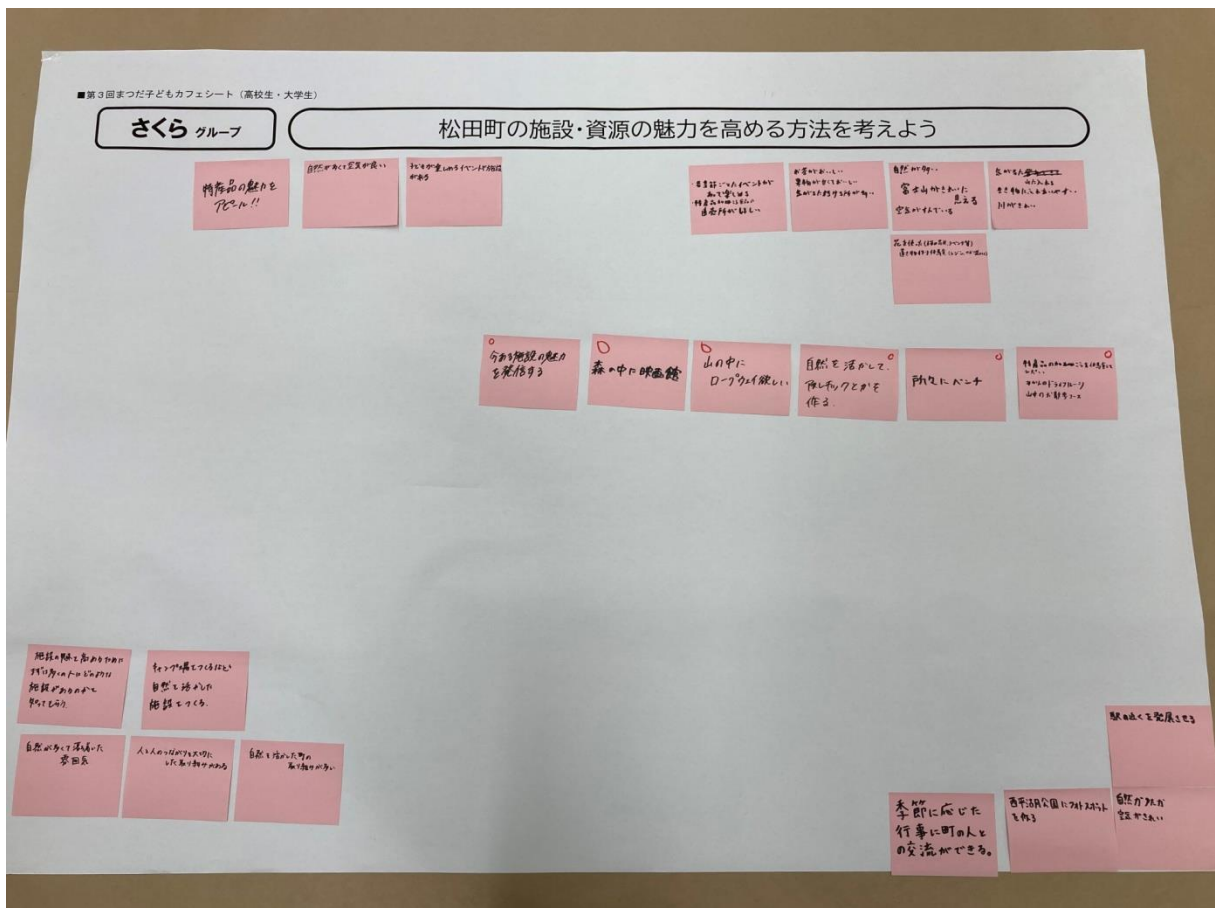
【さくらグループ】 松田町の施設・資源の魅力を高める方法を考えよう

・さくらグループは、松田町の施設・資源の魅力を高める方法を考えようというテーマで、主に自然に関する意見が出て、「今ある施設の魅力を発信する」、「森の中に映画館」、「山の中にロープウェイがほしい」、「自然を活かしてアスレチックを作る」、「所々にベンチをつくる」、「特産品のみかんのドライフルーツなどをつくる」などがありました。

《感想》

- ・ほしいものや魅力がいっぱいあって、松田町の良いところを知れて良かったです。
- ・改めて松田町について考えられたので良かったと思います。
- ・松田町にこんな施設があったんだと知ることができました。
- ・たくさん意見が出せて良かった。

■ 第2部 さくらグループのワークシート



【コスモスグループ】 SNSで松田町をバズらせる方法を考えよう

- ・私たちのグループは、SNSで松田町をバズらせる方法について考えました。主な意見グループとして、「やっこさん」と、「その他有名人」などに分けられると思います。
- ・「やっこさん」では、主に、町長さんとやっこさんとの対談や、やっこさんの本の出版などをSNSにアップしたりすることによって、たくさんの人が動画などを見てくれるんじゃないかと思います。
- ・松田町に「隠れやっこさん」などを置くことによって、例えばスタンプラリーみたいな感じで、やっこさんを見つけて、それを写真に撮って、隠れやっこさんの数に応じて景品などをもらえるようにすれば、松田町に興味を持ってくれる人がたくさんいると思います。
- ・その他の意見グループとして、有名人によるやっこさんの紹介をすることによって、「あ、そういうキャラがいるんだ」って、いろいろな人にそういう興味を抱かせることによってキャラの知名度は上がってくると思います。

《感想》

- ・こういうことは初めてだったので、とても緊張しました。
- ・松田町の活動について深く考えることができて良かったです。
- ・他の机もまわったりして、初めて会った人とも意見を交換ができたので、すごく良かった。

■ 第2部 コスモスグループのワークシート

SNSで松田町をバズらせる方法を考えよう

やっこさん

- 町長さんとの対談
- やっこさんの本の出版
- 町長さんがYouTubeで発信
- オリジナルアニメ制作
- 流行りの曲でやっこさんを踊らせる
- やっこさんショート動画を作る
- やっこさんをVTuber化する

かくれ
奴さん
プレゼント企画

やっこさんの顔のイラスト制作
ネットに興味を持ってもらう

野球部のTwitterを活用する
部活などの大会で成績を残す

有名人による紹介

イラストの写真を発信
公式LINEスタッフを作る

その他有名人など

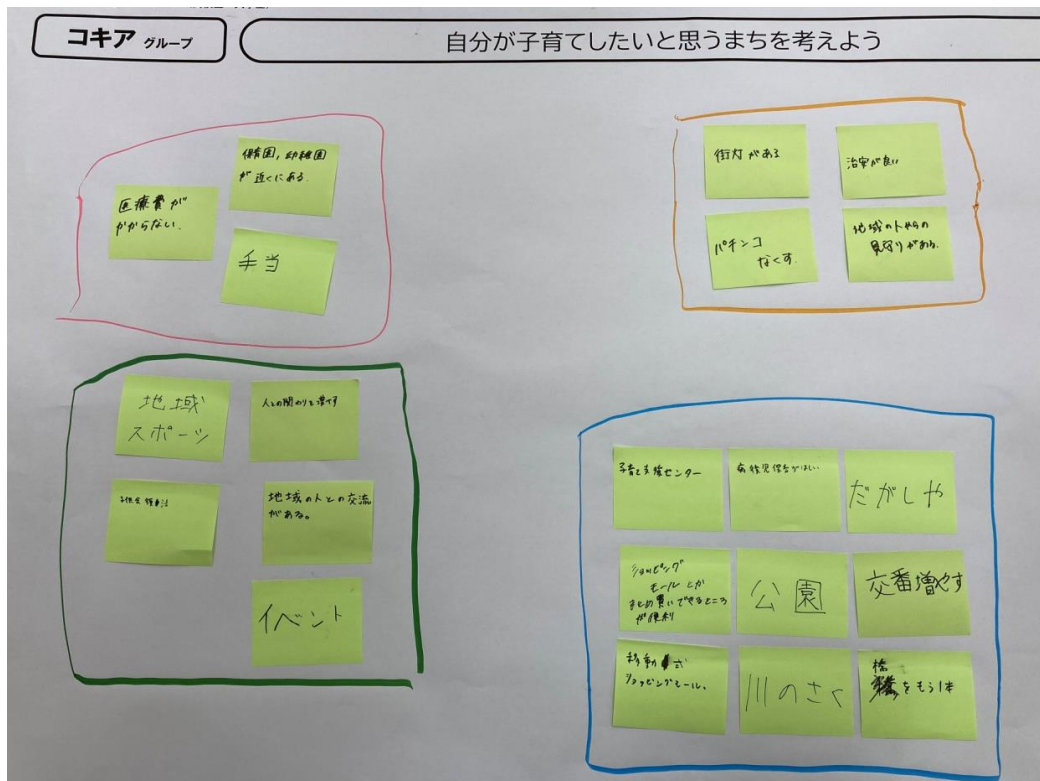
【コキアグループ】 自分が子育てしたいと思うまちを考えよう

- ・自分たちのグループのテーマは<自分が子育てしたいと思うまちを考えよう>です。基本、この4つができました。
- ・1つは、単純に治安が良ければ住みやすかったり、子育てしやすいなというイメージがするので、「治安が良いかどうか」です。2つめは、こういった「施設」があるといいなということで、「病後児保育」だったり、「交番」が増えたら治安が良くなって子育てしたいまちにつながるという意見、3つめは、「医療費」だとかお金の面だったり、「保育園・幼稚園が自分の家の近くにある」といいなという意見です。
- ・また、まつだ子どもカフェのような「人との交流イベント」をもっと増やしたら、親御さんとかの子育てがしやすくなるんじゃないかという意見が出ました。

《感想》

- ・自分は前回の第2回子どもカフェも参加しましたが、前回とはやり方が違ったので、いろいろな人と交流して、いろいろな人の考え方を聞けてすごく良かったと思います。あと、前回自分ができなかったこともやれたので、とても充実しました。ありがとうございます。
- ・自分とは違う人の視点からの意見とかが聞けてよかったです。あと、関わったことがない人と話せたりして、いい経験になりました。
- ・普段あまり考えないことについて、いろいろな人と話して考えられたので良かったと思います。
- ・他のグループで話に出た意見が、うちのグループとはちょっと違う捉え方をしたりして、まちづくりって難しいんだなと思いました。あと、お菓子がおいしかったです。ありがとうございました。

■ 第2部 コキアグループのワークシート



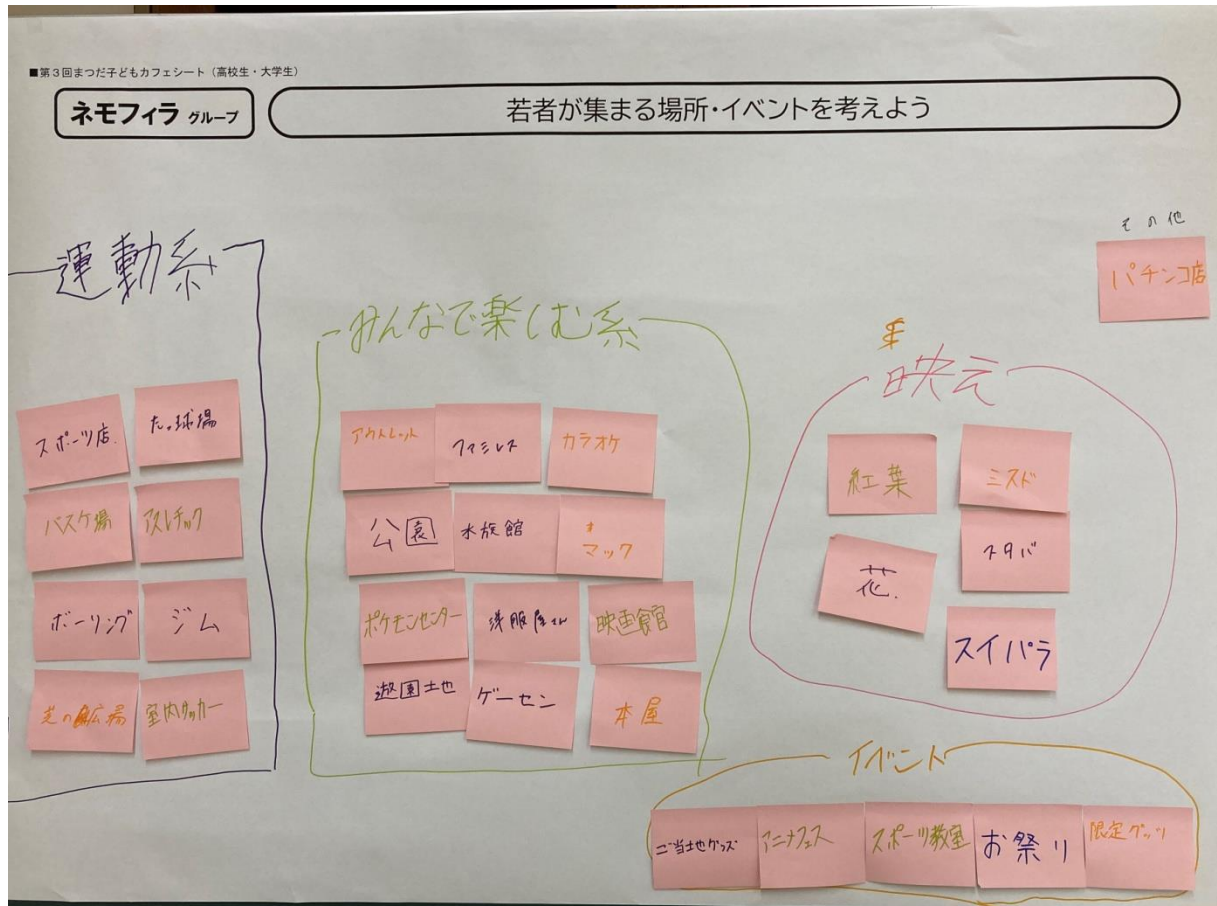
【ネモフィラグループ】若者が集まる場所・イベントを考えよう

- ・僕たちは、若者が集まる場所・イベントを考えようというテーマに沿って考えました。
- ・まずは「運動系」で、「スポーツ店」とか、「バスケ場」とかがあったらいいなと思います。
- ・次に、「みんなで楽しむ系」ということで、学校帰りとかに「ファミレス」とかがあるといいですし、「ポケモンセンター」があると子どもに非常に人気なので、いいのかなと思います。
- ・「映え」は、「映え」です。
- ・「イベント」に関しては、アニメとか、そのアニメのグッズとかをご当地グッズと合わせたような「限定グッズ」があると、松田町のオリジナルでいいんじゃないかなと思います。

《感想》

- ・こういうことは初めてでしたが、すごく楽しくて良かったなと思います。
- ・松田町の未来につながるようなことができちゃったし、貴重な経験になったので良かったと思います。
- ・こういう意見を考えるにあたって、他の市と比べたりとかできて良かったのと、ああいう運動系は子育てとかにもつながったりするんだなと思うと、深いなと思いました。

■ 第2部 ネモフィラグループのワークシート



【みかんグループ(オンライン班)】 住みやすいまち、戻ってきたいまちってどんなまち？を考えよう
SNSで松田町をバズらせる方法を考えよう

・自分たちのグループは、「住みやすいまち、戻ってきたいまちってどんなまち？を考えよう」と、「SNSで松田町をバズらせる方法を考えよう」について話し合いました。

⇒ 住みやすいまち、戻ってきたいまちってどんなまち？を考えよう

- ・「住みやすいまち、戻ってきたいまちってどんなまち？を考えよう」について、「自然について」、「駅前活性化について」、「交流について」が出ました。
- ・自然については、「自然が豊かなこと」、「生き物がいるといい」、「居心地がいい場所であること」などが出ました。
- ・駅前活性化については、「商店街が少ない」、「大人も子どもも遊べる場所があるといい」、「駅前の店をもっと活性化・魅力的に」、「駅の近くにもっと店があるといい」などの意見が出ました。
- ・交流では、「近隣の人との交流を増やす」、「近所づきあいをよくする」などが出ました。

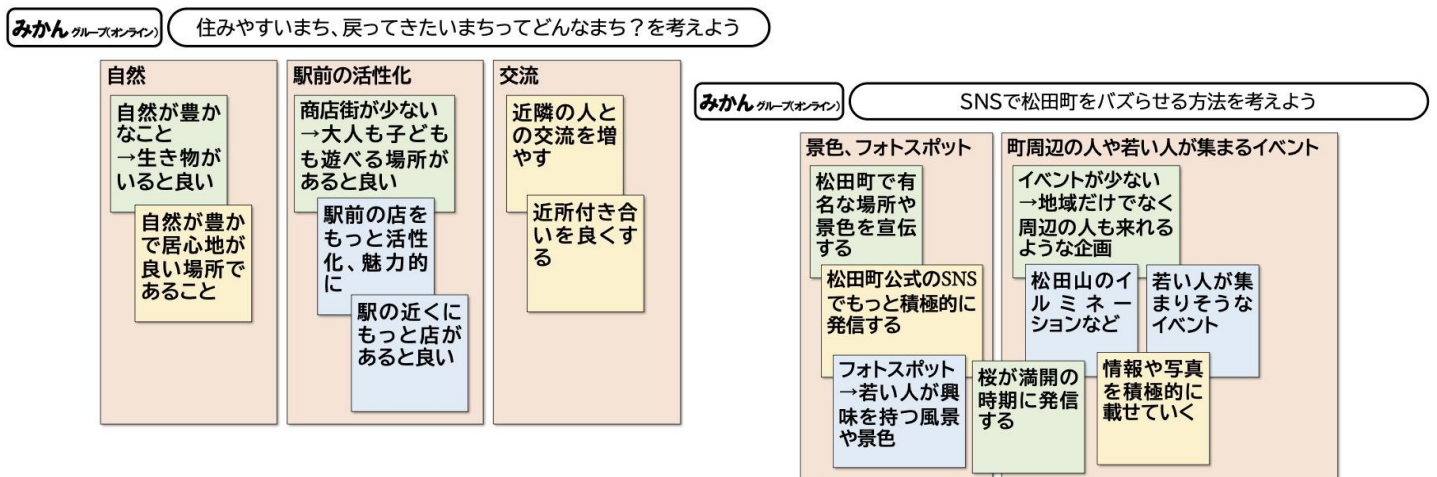
⇒ SNSで松田町をバズらせる方法を考えよう

- ・「SNSで松田町をバズらせよう」については、「景色」、「フォトスポット」、「周辺の人や若い人が集まるイベント」について、話が出ました。
- ・「松田町で有名な町や景色を宣伝する」、「松田町の公式SNSでもっと積極的に発信する」、「フォトスポット」、「若い人が興味を持つ風景や景色」について話しました。
- ・周辺の人や若い人が集まるイベントについては、「イベントが少ない」、「地域の人だけではなく、周辺の人にも来られるようなイベントを作る」、「松田山イルミネーションなど、若い人が集まるようなイベント」、「桜が満開の時期を発信する」、「情報や写真を積極的にアップする」という意見が出ました。

《感想》

- ・このようなことが初めてだったので、貴重な時間をいただくことができ、ありがとうございました。
- ・学校外で他の人と意見を交換したりするのが初めてだったので、貴重な体験ができました。
- ・いろいろな人の意見を聞くことができ、とても貴重な時間でした。

■ 第2部 みかんグループのワークシート



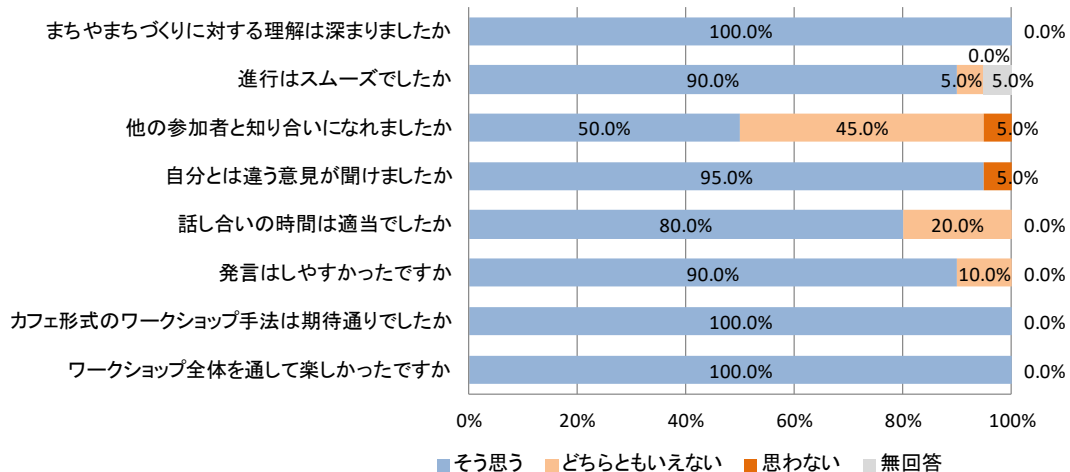
■子どもカフェ(第2部)の様子



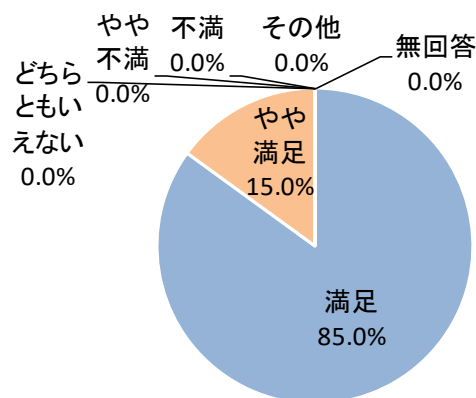
(2)参加者アンケート結果

参加者の感想としては、全体的に満足度は高く、新たに導入したワールドカフェ形式を楽しみながら、まちへの理解を深められたことがうかがえる。今後のまちづくりへの参加意向も高いが、次回へ向けて参加者同士の交流をさらに深める工夫が必要である。また、町の魅力やイベントなどをもっと発信してほしいとの意見が多く、YouTube や SNS を使った、若者にも興味を持ってもらえる情報発信が求められる。

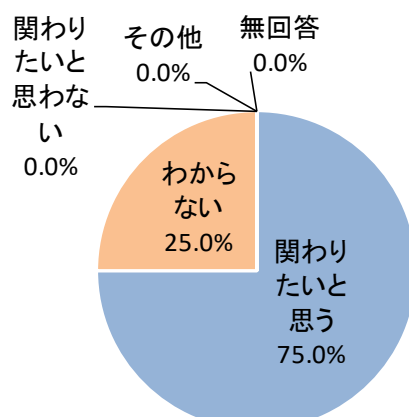
■参加して感じたこと



■全体の満足度



■次回の参加意向（今後、まちづくりに関わりたいと思うか）



■今後、まちが重点的に取り組むべきテーマや取り組み

【SNS などを使った町の情報発信】

- ・松田町の魅力を発信すること。戻って来たいと思うまちづくり。
- ・松田町の日常や、特産品、名所などの発信。
- ・SNSの発信。せっかく良いイベント(イルミネーション)があるのに、若者や町以外の人で知らない人がいる。だから、情報を広げるためにSNSの発信がもっと活発になったら良いと思う。
- ・アカウントを作ったり、駅の近くのお店の数を増やす。自然環境をくずさず、遊び場などを作る。
- ・町のイベントのPRをメディアに取り上げてもらうことで、SNSに上げてもらうことができる。

【イベント、人の集まる施設、場所づくり】

- ・駅前の活性化やイベントなどの情報の発信などに取り組んだ方が良いと思いました。また、新しいイベントなどをやったり、駅を新しくしたり、駅前だけじゃなく他のところも活性化した方が良いと思いました。
- ・駅前を栄えさせる。
- ・駅周辺の開発、スポーツができるような広い広場。
- ・公園などの地域スポーツ化活動。
- ・スポーツ教室など、子どもたちのスポーツにふれる機会を増やしてほしい。
- ・誰でも楽しめるまちづくり。

【自然の活用】

- ・自然を活かした取り組み
- ・自然に絡めたまちづくり。

【若者の意見・アイデアの活用】

- ・若者が興味を持ちやすいものに取り組む。
- ・立花学園高校との関わりをもっと活発的にする。

【買い物支援】

- ・高齢者が多いので、キャンピングカーなどを使って、移動式スーパーを作ったら、住みやすくなると思います。

■感想やもっと話したかったこと

- ・初めて話す人たちと意見交換ができて良かったです！『ひろちゃんねる』楽しみに待ってます！お菓子おいしかったです！
- ・松田町観光協会のインスタの更新頻度が高い。→良い！（キラキラフェスタの投稿写真をもっとおしゃれにした方が良いと思う）。『ひろちゃんねる』開設待ってます。
- ・松田小学校の門が開くのが8時だと、児童が道路に出ないか心配という声を松田町の人から聞きました。
- ・サッカー一部が利用させていただいている親水公園をより良くしてほしい。